

## 令和2年度 林業普及週間現地情報(5/31～6/6)

森林管理課

### 松くい虫薬剤防除が終了

6月3日（水）

令和2年6月3日、松くい虫薬剤防除事業の薬剤散布が、実施箇所すべてにおいて無事終了した。

今年度は、今帰仁村、本部町、名護市、恩納村の高度公益機能森林（57.5ha）において散布を行った。

薬剤散布の実施計画は、1～3月までの平均気温等から算出されるマツノマダラカミキリの羽化脱出予測日の情報を基に計画する。

今年度の予測日は4月20日となったため、1回目は4月13日から4月17日まで、2回目はマツノマダラカミキリ発生のピーク期に合わせ、5月25日から5月29日までの計画となった。

5月の散布は梅雨時期と重なり、毎日の天気予報はもちろん、ピンポイントなゲリラ豪雨などにも細心の注意を払いながらの実施となったが、近年の天気予報精度の向上や、雨雲レーダーなどを活用することにより、効率的な事業実施が出来た。

薬剤散布は、媒介役であるマツノマダラカミキリが前年度の被害木から羽化脱出したあと、健全木を食害しマツノザイセンチュウを侵入させる前に薬剤を散布することで、被害の蔓延を防ぐ目的で実施する。

松くい虫被害対策は、薬剤散布のほかにも、被害木の伐倒駆除（11月～翌3月）、薬剤注入（12月～翌2月）等を実施することにより、1年を通して被害の蔓延防止に取り組むものである。



（報告者：北部農林水産振興センター 今田、大城、森田）